



CONTENTS

- * 英語プレゼンテーション
- * 岐阜大学フェア in 高山
- * 男女共同参画推進フォーラム
- * カモミール月曆
- * サイン夢追い人育成プロジェクト
- * 保育園たより



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



英語プレゼンテーションセミナー

男女共同参画推進室では下記のとおり、英語プレゼンテーションセミナーを開催します。当室ではこれまでも複数の英語セミナーを実施しておりますが、今回のセミナーの特色は、以下のとおりで、どのような研究分野の方にもお役に立つことと思います。

- ①日本人講師による講義。英語の聞き取りが苦手な初心者でも、質疑応答など日本語で対応します。
- ②日本人をはじめとする、英語を母語としない人の苦手なポイントを念頭に置きながら、ワークショップ形式で実施します。
- ③希望者多数の場合は女性研究者を優先しますが、男性や大学院生も歓迎です。
- ④内容は理系分野の学会発表に主眼をおきますが、文系研究者にも役立つヒントを積極的に盛り込みます。
- ⑤主な対象者は、これから学会発表などにチャレンジする意欲をお持ちの若手研究者です。

このセミナーへの参加者を募集いたします。皆様のご応募をお待ちしています。

日時：2016年11月12日（土）10:00～16:00

場所：岐阜女子大学 文化情報研究センター

対象：連携機関所属の研究者・大学院生・研究職社員など

※定員超過の場合は、文部科学省補助事業の趣旨により、女性研究者優先とします。

受講無料

受講人数：30名程度

応募方法：受講を希望する方は、10月26日（水）までにメールでお申し込みください。

E-mail : kagayaku@gifu-u.ac.jp

申し込みメール記載事項

氏名、所属、役職（学生の場合は学年）、性別、託児希望の有無をご明記ください。

また、見本としてスライド＋スピーチをご提供いただける方1名様に特別に無料で校閲＋オーディオファイルをプレゼントします。

ご希望の方は申し込みの際にスライドとスピーチの台本（20分程度）をご提出ください。希望者が複数になった場合は抽選とさせていただきます。



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）
連携の国際化を支援プロジェクト

英語プレゼンテーションセミナー

日時：2016年11月12日（土）10:00～16:00
場所：岐阜女子大学 文化情報研究センター

〒500-8813
岐阜県岐阜市南郷10丁目 岐阜女子大学 文化情報研究センター
TEL: 058-267-5237

1 本日のセミナーは、英語プレゼンテーションの基礎から応用まで、実践的な内容で構成されています。また、質疑応答も日本語で行います。

2 本日のセミナーは、英語プレゼンテーションの基礎から応用まで、実践的な内容で構成されています。また、質疑応答も日本語で行います。

日本人講師によるワークショップ形式。質疑応答など、必要に応じて日本語も使用。文章の方も成立イベントが予定されており、ご好評をいただいております。

対象：岐阜大学・岐阜学院大学・岐阜女子大学・文化情報研究センター所属の研究者・大学院生・研究職社員など。ただし、応募者多数の場合は女性研究者優先とします。

応募方法：氏名、所属、役職（学生の場合は学年）、性別、託児希望の有無、申し込みの理由（200文字以内）を明記し、メールでお申し込みください。

申し込み期限：2016年10月26日（水）まで
申し込み先：kagayaku@gifu-u.ac.jp
お問い合わせ先：岐阜大学男女共同参画推進室
〒500-8813 岐阜県岐阜市南郷10丁目
TEL: 058-267-5237 FAX: 058-267-5396
E-mail: kagayaku@gifu-u.ac.jp

無料託児所あり
※託児予約は希望者の方のみです

依頼サービス
ご希望の方には無料校閲サービスもご用意しております。

見本としてスライド＋スピーチをご提供いただける方1名様に特別に無料で校閲＋オーディオファイルをプレゼントします。

カモミール月曆 (室長からのメッセージ)

副学長 (多様性人材活力推進担当) 林 正子

10月4日(火)各紙朝刊一面に、「大隅良典 東京工業大学栄誉教授 ノーベル医学生理学賞受賞」のニュースが躍動しました。日本人のノーベル賞受賞は3年連続、アメリカ合衆国籍を取得した人を含め25人目とのことで、その快挙に日本中が沸き立っています。他方、「【ノーベル賞】世界上位の受賞者数を誇る日本には、なぜ女性受賞者が1人もいないのか」

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20161004-00010007-bfj-soci>

「〈ノーベル賞〉日本人の女性研究者が出ない理由」<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20161009-00000007-mai-soci>といった記事も目にしました。要因のひとつとして挙げられているのが、日本の研究者に占める女性の割合の低さです。「男女共同参画白書(平成28年度版)」によれば、日本は14.7%(最も高いポルトガルは45.4%)。そもそも女性研究者が少ない上に、出産・育児・介護等の負担に対する支援策が十分でないことが指摘されています。

今回は、この課題に対応する取り組みとして、岐阜大学が代表機関となり、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ(株)とともに連携して展開している文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」から、直近の2つの講演をご紹介します。

女性の活躍で大学を活性化 —— 性別によらず輝ける組織づくりに向けて ——

2016年9月30日(金)、岐阜薬科大学にて、フォーラム講演会「女性の活躍で大学を活性化——性別によらず輝ける組織づくりに向けて——」が開催されました。名古屋大学 副理事・男女共同参画室長の東村博子 生命農学研究科教授にお越しいただき、女性研究者の活躍意義をめざしての取り組みの意義と背景、男女の生物学的な違い、男女共同参画の必要性、名古屋大学における「戦略としての」男女共同参画推進の取り組みなどについて、迫力ある講演を展開していただきました。

日本の女性の社会進出を阻む要因のひとつとして、男女の固定的性別役割分担意識が挙げられます。そもそもIQには男女差は認められないにもかかわらず、平均値の性差と個体にとっての性差が混同されている実態に、東村先生は生殖科学のご専門的見地から警鐘を鳴らされました。「女性の活躍が日本を活性化する」との力強いメッセージのキー・ワードが「多様性(ダイバーシティ)」です。「性を有する生物は、なぜ地球上に繁栄してきたのか」という問いかけのもと、有性生殖は遺伝子の多様性を生み、さまざまな環境変化に適應できる能力を獲得するチャンスが増えることにより、社会からの要請や状況の変化に柔軟にできるようになることが説かれ、大学においても多様性(ダイバーシティ)が重要であることが論じられました。構成員の多様性が認められることによって個々人の自己実現が容易になること、個々人が輝くことによって組織が強靱になることが、具体的な施策とともに高らかに提唱されました。

「居場所」のない男と「時間」がない女 —— 女性(研究者)が仕事を続けていくうえで、 現代社会にどのような問題があるのか ——

10月4日(火)岐阜大学サテライトキャンパスにて、女性研究者キャリアパス支援講演会「『居場所』のない男と『時間』がない女——女性(研究者)が仕事を続けていくうえで、現代社会にどのような問題があるのか——」を開催しました。詩人であり社会学者である水無田気流 國學院大学教授にお越しいただき、女性研究者が少ない理由や、働く女性をめぐる過酷な状況、課題を乗り越えるための方策について、数多くの統計データにもとづき、縦横無尽に論じていただきました。

男性の「関係貧困」と女性の「時間貧困」を説く講演の関連本、水無田氏のご高著『「居場所」のない男、「時間」がない女』(日本経済新聞出版社 2015年6月)の帯には、「家庭で孤立する中高年、生涯未婚者増、年約3万人の孤独死、産みたくても産めない『社会的不妊』・・・『普通の幸せ』は、今なぜこれほどハードルが高いのか?」という正鵠を射た語句が掲げられています。

結婚も仕事も出産も育児も介護も「完璧に」こなすことが女性に求められかねない「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」は、「日本女性超人化計画」となる危険性さえあり、諸課題を乗り越えるためには、女性は職場の一員として、男性は家庭・地域社会の一員として積極的に参加すること、同一労働同一賃金、時短、有給休暇取得率上昇などの全方位的な雇用環境の改善によって、「標準世帯」を前提とする社会制度の見直し、男女を問わず働き方・暮らし方の見直しが必要であることが率直明快な言葉で語られ、多くの聴衆を引きつける充実した講演会となりました。

岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ(株)による連携事業の詳細は、共同のホームページ「女性研究者の活躍による岐阜創生をめざして」<https://diversity.gifu-u.ac.jp/> や「清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト 通信」でもご紹介しています。どうぞぜひご覧ください。





岐阜大学フェア in 高山

11月12日（土）、13日（日）に、飛騨・世界生活文化センター（高山市千島町1-1）でおこなわれる「岐阜大学フェア in 高山」に男女共同参画推進室が参加します。

男女共同参画推進室は、2011年から岐阜大学フェアに参加し学内外の方々に取り組みを紹介しています。今回は「岐阜大学フェア in 高山」ということで、飛騨地方の方々にも、当室の取り組みをご覧いただきたいと願っています。また、皆様には引き続き活動へのご協力をお願いできれば幸いです。

飛騨地方にお住いのお知り合いがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介くださいますよう、どうぞよろしく願いいたします。



▲昨年度のパネル

「サイエンス夢追い人」育成プロジェクト

（女子大学院生による出前講義）

9月27日（火）に、第6回目となる長良高校1年生対象の出前講義をおこないました。約400名が岐阜大学に来校して入試課からの説明を受けた後、3クラスに分かれて女子大学院生による出前講義を受けました。



▲ 大江史花さん

「研究紹介と進路選択」

今年度初めて出前講義の講師に挑戦した大江さん。発表は苦手なので、と言っていましたが、とても良い講義をしてくださいました。実験内容はそれほど難しくないけれども、わかりやすく説明するのが非常に難しい工学研究科生命工学専攻の研究内容を、何回もスライドを作り直し、発表を練習して臨みました。「研究はRPGと同じ」で、高校生のうちから基礎体力と経験知を高めておくことをアドバイスしていました。



▲ 森ことのさん

「とある^{メカ}機械好き生物屋の^{キャンパスライフ}大学生生活」

森ことのさんは、昨年に引き続き、2回目の出前講義となりました。学部時代からの研究を継続していたら実験を失敗してしまい、昨年からの研究内容を変更しなければならなかったこと、指導教授の提案で3Dプリンターを使った研究をしてみたら意外と面白かったこと、自分の選択が間違っていたかどうか、かなり後にならないとわからないということを生徒の皆さんに伝えていました。



▲ 山本彩織さん

「ライチョウの研究と私の進路選択」

山本さんも、3年前から何回も講義を担当していただいている大学院生の方です。今回は、高校1年生向けの約30分の講義ということで、さらにわかりやすいスライドに作り直していただきました。ライチョウを保護することがいかに大変なことか、野生動物の保護にかかわりたいという「自分のやりたいこと」が分かっているならば、たとえ一つの手段が無理でも、他にいろいろなかわり方があるはずなので、広い目でいろいろな可能性について考えてほしい、とのメッセージを伝えていました。

男女共同参画推進フォーラム



平成28年8月26日（金）から8月28日（日）にかけて、独立行政法人国立女性教育会館にて、平成28年度男女共同参画推進フォーラムが開催されました。男女雇用機会均等法成立に深くかかわった元労働省の赤松良子氏の講演があり、「女性差別のない社会」の実現に対する強い思いを感じました。8月27日（土）には、『男もつらいよ！男性の働き方改革とワーク ライフ バランス再考』と題したシンポジウムがあり、男性育児休暇取得第1号となった太田睦氏の講演などがありました。太田氏は、「働きたい女性の権利が尊重されると同時に、子育てがしたいという男性の権利も尊重すべき」と述べ、男性育児休暇取得率2%という現状は、明らかに社会的な抑圧があると考えられる、



とコメントしました。コーディネーターの宮本みち子氏は、現在「女性の論理」と思われているものは、少子高齢化・人口減少社会においては「社会の論理」になっていくだろうと述べ、田中俊之氏は、ダイバーシティやワーク・ライフ・バランスは、「女のため」ではなくて「自分のため」であることを男女とも理解し、性別にとらわれない多様な生き方の実現が大事である、とコメントし、男性の生き方改革が提唱された貴重なシンポジウムとなりました。



保育園たより



9月13日（火）岐阜市図書ボランティアによるお話し会で、紙芝居のダルマ天狗を笑わせるために、“にらめっこ”をしたり、迷子の子猫の家が見つかるアレンジ版の“犬のおまわりさん”のペープサート*などを満喫しました。



9月15日（木）「すこやか」は、皆で三宝の上に紙のお団子一つずつお供えし、お月見の気分を味わいました。「ほほえみ」は、お団子を食べてく月化けた“いたずらたぬきくん”が、最後には他の動物たちと仲良くお団子を食べることができた、心温まるペープサート*を楽しみました。



*ペープサート：紙人形劇を意味する和製英語。英語で言うところの Paper Puppet Theater のこと。



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3378 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。